

令和7年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科		教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科		情報	社会と情報	全	2	最新社会と情報 新訂版(実教出版)	最新社会と情報新訂版学習ノート (実教出版)
目標と評価規準			関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。			
			思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かしている。また、情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。			
			技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱うことができる。			
			知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。			
学期	通年	半期	単元	学習内容		到達度目標	
前期	4月	4月	1章 情報社会と私たち	第1節 情報社会	・情報や知識についての意味や情報化の「光と影」を理解する。 ・情報の残存性、複製性、伝播性など情報の特徴を理解する。 ・情報とメディアの関係、メディアの分類と特性を理解する。 ・個人情報の意味と個人情報保護法について理解し、個人情報漏洩の実態、防止対策について学ぶ。 ・情報の信憑性、信頼性、メディアリテラシーについて理解する。 ・メールやSNSを利用する際のモラルとマナーを身に付ける。 ・有害サイト、チェーンメール等、特にスマートフォン利用の注意点を理解する。 ・知的財産権の構成について理解するとともに、産業財産権の種類と内容について事例を通じて理解する。 ・著作権の構成と各権利の内容、及び例外規定について理解し、著作権の侵害事例について理解し、著作権法を守る態度を身に付ける。		
	5月			第2節 情報とメディア			
	6月	5月		2章 情報機器とデジタル表現			
	7月 9月		第1節 情報機器とデジタル		・情報機器の種類と特徴、インターフェースについて学ぶ。 ・アナログとデジタルの意味を理解し、デジタル化のメリットについて考える。 ・情報を2進数で表現すること、情報量の概念と単位について理解する。 ・2進数・10進数・16進数の相互変換ができる。 ・文字のデジタル表現について理解する。 ・音声の標本化、量子化、符号化について理解する。 ・周波数・周期の関係や、標本化定理について理解する。 ・画像のデジタル表現について理解する。 ・音声、静止画、動画のデータ量を求めることができる。		
後期	10月	6月	3章 表現と伝達	第2節 デジタル表現			・情報伝達する際の注意事項について理解する。 ・チラシや案内状、企画書の作成に関心をもち、文字・表・図形・画像などの工夫ができる。 ・表計算ソフトを利用してデータの並べ替え、抽出、関数の利用について理解する。 ・関数を利用してデータの統計や、条件のある計算を実習で習得する。 ・プレゼンテーション実施の流れや実施上の留意点、プレゼンテーションの評価方法について理解する。 ・画像と音声、静止画と動画の利用効果について考える。
	11月			第1節 表現の工夫			
	12月	7月		4章 コミュニケーションとネットワーク	第2節 表計算ソフトの利用		
	1月		第3節 プレゼンテーション				
	2月	9月	5章 情報社会と問題解決		第1節 コミュニケーション	・メディアによるメリット・デメリットについて理解する。 ・アプリなどを利用したコミュニケーションと留意点を学ぶ。 ・ネットワークの特性やインターネットの仕組みを理解する。 ・転送速度とデータ量の基本的な計算ができる。 ・情報を正確で効率的に転送する工夫について理解する。 ・デジタル情報の圧縮について理解する。 ・コンピュータウイルスの種類や被害の状況、及びその対策を理解する。 ・情報の暗号方式やデジタル署名、電子透かし、アクセス制御、フィルタリングなどセキュリティ技術の方法について理解する。 ・企業や組織のセキュリティ対策の必要性を理解する。 ・情報セキュリティポリシーの目的・内容や事例について学ぶ。	
				第2節 ネットワーク			
				第3節 情報セキュリティ			
				第1節 情報システムと人間	・身近な情報システムの仕組みと働きについて理解する。 ・情報の受け手のことを考えた情報表現や工夫について考える。 ・サイバー犯罪の種類と具体例を理解し、受信者のリスクや対策、デジタルデバッドなど情報社会の課題について考える。 ・問題解決の過程及び問題解決のための手段の選択について考え、ブレーンストーミングやKJ法などのアイデア収集を体験するなど問題の明確化、情報の収集・整理・分析の技術を身に付ける。 ・Webサイト制作の流れを理解し、文字・画像の表示やリンクの設定方法を理解する。 ・Webサイトの評価方法とCSSの利用や意義について学ぶ。		
	第2節 問題解決						
	第3節 情報発信						